

- 五所川原市は「五所川原市地域公共交通計画」において、人口減少・少子高齢化社会に対応していくため、まちづくりと連携した交通体系の構築、公共交通を支える体制づくりの強化、既存の交通資源の有効活用などの取組を推進
- タクシー事業者のいない地域における**官民連携による公共ライドシェアの導入**や、**路線バスとスクールバスの統合**（交通資源の有効活用）によるサービスレベルの維持により、持続可能で利便性の高い地域公共交通の確保維持を図る。

事業の内容

①金木地域公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）の導入

- ・タクシー事業者のいない金木地域において、市が主体となって公共ライドシェアを実施
- ・運行は金木商工会が担い、官民連携により地域の足を確保
- ・予約・配車システムにAIを用いることで、効率的な運行を実施
- ・自宅と各目的施設（公共施設、各地区コミュニティセンター・集会所等）の間を運行

②路線バスとスクールバスの統合

- ・路線バス藻川線に、三好地区スクールバスを統合し、中学生が登下校のために利用
- ・中学生の部活動帰りの需要に対応するため1便増便
- ・路線バスとスクールバスの統合に伴い、定期機能を有するICカードを中学生に配付。また、従来スクールバスの運行がなかった土日祝日、夏休み及び冬休みの部活動や課外活動の際にもバス利用を可能とする。

事業の効果

（事業①関係）

- ・金木地域におけるAIデマンドを活用した公共ライドシェアの活用による利便性の向上及び公共交通の利用促進

（事業②関係）

- ・路線バス藻川線とスクールバスの統合により、重複する輸送体系の効率化を行い、持続可能な路線を形成
- ▶上記により、利便性の高い公共交通網の構築により利用促進を図り、計画の指標達成に寄与

- ・作成自治体：青森県五所川原市 ・事業実施区域：五所川原市全域
- ・事業実施予定期間：令和7年度～令和10年度

